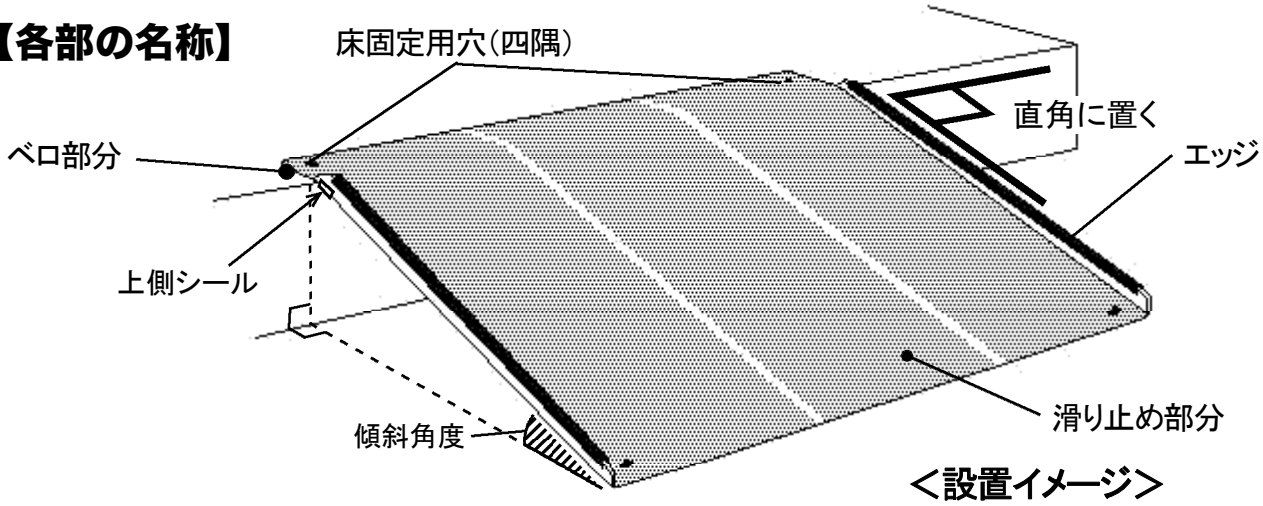


取扱説明書

この度は「イーストアイ・ポータブルスロープ エッジ付1枚板タイプ」をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。また、この「取扱説明書」いつでも見られる場所に大切に保管してください。

【各部の名称】



目次

- ・各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・1P
- ・警告表示の説明・・・・・・・・・・・・・・・・2P
- ・使用上の警告と注意・・・・・・・・・・2～5P
- ・設置方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・6P
- ・お手入れの際のチェックポイント・・・・6P
- ・角度表・・・・・・・・・・・・・・・・・・7P
- ・安全に製品をご使用いただくために・・・8P

《レンタル業者様へのお願い》

スロープをレンタルされる場合は、実際にご使用になるお客様に事前にスロープの使用条件、設置方法、取扱い上の警告・注意事項など、この取扱説明書の内容について十分にご説明くださいますようお願い致します。

また、実際に使用される場所をご確認いただき、周辺に障害物などの危険(例:溝、小さな段差、小石など)がある場合、ご利用者様に対して、「使用環境の整備」と「事故防止の対策」などの提案をお願いいたします。

* 弊社ホームページから介護保険貸与対象福祉用具の「取扱説明書」の最新版をダウンロードすることができます。
(ホームページURL <http://www.easti.co.jp>)

【警告表示の説明】

<p>警告表示： ⚠ 警告</p> <p>この表示を無視して誤った取扱いをすると使用する方が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>	<p>警告表示： ⚠ 注意</p> <p>この表示を無視して誤った取扱いをすると使用する方が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
<p>図記号： 🚫 禁止</p> <p>使用の際に「してはいけない内容(禁止)」を示しています。</p>	<p>図記号： 🛑 必ずおこなう</p> <p>使用の際に「必ずお守りいただく内容(実行)」を示しています。</p>

【使用上の警告と注意】

* 安全のために必ずお守りください

警告

●は使用に際しての具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らずに使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

耐荷重を超えて
使用しない

⊙ 禁止

- このスロープの耐荷重は180kgです。
耐荷重を超えるような使い方をしないでください。
- スロープが破損して、ご使用になる方が転落、転倒するなど思わぬ事故の原因になります。また、スロープ上で飛び跳ねるなど強い衝撃が加わったり、多くの方がスロープにのるなどして、耐荷重を超える力がかかるとスロープが変形して使用できなくなる場合があります。

スロープを放置しない

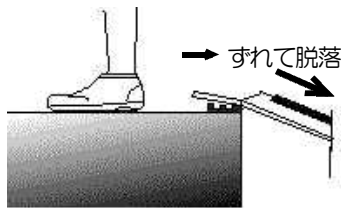
⊙ 禁止

- スロープに小さなお子さまがのって遊んだり、スロープが周囲の通行の妨げになることがありますので、スロープは放置しないでください。使用後はすぐに取外して保管してください。
また、常設する場合は、使用しない時のスロープの管理に十分ご注意ください。
- スロープからの転落、転倒など思わぬ事故の原因になります。

スロープの固定について

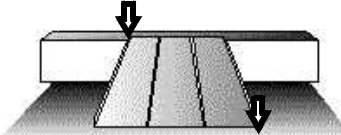
❶ 必ずおこなう

②の場合



*滑り止めなどですき間がある場合

③の場合



*床・段差面が滑りやすい場所

- 下記の状況でスロープをご使用の場合は、スロープが動かないように固定してください。固定はスロープの四隅にある床固定用穴を利用して、ボルトやピンなどを打ち込んでください。

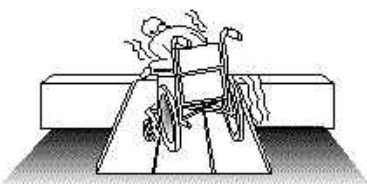
- ①スロープを常設して使用する場合。
- ②段差の形状(段差面に凸凹があるなど)や段差表面の滑り止め材などの影響で、スロープのペロ部分と段差との間にすき間ができ、使用時に車いすのキャスターや介助の方の足がスロープにぶつかり、スロープが段差から脱落する恐れがある場合。
- ③スロープを設置する床、段差面が滑りやすい場所の場合。
特に雨などで濡れた状態になるとスロープ自体がずれ落ちる恐れがあります。
- ④その他の状況により、スロープがずれることが想定される場合。

改造をしない

⊙ 禁止

- スロープに穴を開けたり、他の部品などを取付けたり、他の部品などに取替えるなどの改造は絶対にしないでください。

偏った力をかけない
(スロープの中央を走行)



❶ 必ずおこなう

- スロープに均等に力がかかるように、スロープの中央部分を走行してください。
- 車いすを使用される方が絶えず身体を揺すったり、片側に大きくもたれかかるような乗り方をされる場合や介助の方が複数スロープ上にのった場合に、スロープに偏った力がかかり、スロープが跳ね上がったたり、ずれて不安定になり、車いすが転倒するなど思わぬ事故の原因になります。
このような場合は、スロープを固定するか、複数の方でスロープが動かないように押さえるなどしてご使用ください。

車いすで自走される 場合の注意

❗ 必ずおこなう

- スロープへののり始め、スロープ上での走行はゆっくり行ってください。特に、スロープを下る時は車いすのブレーキを使用してゆっくり走行してください。車いすを蛇行させたり、急発進させたり、急ブレーキを使用しないでください。電動車いす（電動3・4輪車）は、特にご注意ください。
- スロープがずれたり、跳ね上がるなどして不安定になり車いすが転倒するなどの思わぬ事故の原因になります。
- 車いすが脱輪しないようご注意ください。自走される場合も必ず介助の方が付き添ってご使用ください。

車いすを介助される 方への注意

⚠ 注意

- スロープへののり始め、スロープ上での走行はゆっくり行ってください。特に、スロープを下る時は車いすのブレーキを使用してゆっくり走行してください。車いすを蛇行させたり、揺らしたり、急発進させたりしないでください。また、介助の方が急に左右に移動したり、飛び跳ねないでください。
- スロープがずれて不安定になり、車いすが転倒するなど思わぬ事故の原因になります。
- 車いすが脱輪しないようご注意ください。空の車いすで練習するなどして、スロープ上での介助によく慣れてからご使用ください。
- 必ずスロープの低い側に立ち、上る時も下る時も車いす前側を段差の高い方へ向けるようにしてください。
- 車いすに乗った方が転落するなど、思わぬ事故の原因になります。
- スロープを下る時は、介助者は後向きになりますので、スロープのベロ部分やエッジ部分につまずくなどして転倒しないように十分ご注意ください。
- スロープの途中で車いすを止めたまま、その場を離れないでください。
- 車いすが動き出して転倒するなど思わぬ事故の原因になります。
- 裸足でスロープを歩いたり、ヒールやサンダル履きなどで介助をしないでください。
- 滑り止めなどで足を傷つけたり、つまずいて転倒する恐れがあります。

傾斜角度15度を 超えて使わない

⊘ 禁止

- スロープを15度を超える傾斜角度で使用しないでください。
- 転倒したり、ケガなどの思わぬ事故の原因になります。
(7頁:角度表をご参照ください。)

《スロープの設置角度の目安は次の通りです。》

- ・車いすを自走させる場合 ……5度程度まで
- ・介助の方が押す場合 ……10度程度まで
- ・電動車いすの場合 ……15度以下

* 上記はあくまでも目安であり、車いすを使用される方の体重や介助の方の体力等によって変わってきます。電動車いすの登坂能力は、メーカー・車種により異なりますので、仕様書等でご確認ください。また、電動車いすの構造上、床下のすき間が少ないものは、スロープに接触する場合がありますので、スロープの角度の設定にご注意ください。

スロープを設置する際の注意

- スロープ設置前に周囲の安全と段差面の状況(段差面が平らか、石など障害物がないか、スロープの使用に耐えられる強度か)を確認してください。設置する時は、軍手などを着用してしっかりと持ち、段差とスロープの間に手をはさむことのないように、静かにゆっくりと置いてください。スロープは段差と直角に設置し、設置後にスロープのペロ部分が段差部にしっかりとのっているかをご確認ください。
- スロープが段差から脱落したり、ずれて不安定になり車いすが転倒するなどの思わぬ事故の原因になります。

❗必ずおこなう

注 意

用途について

- このスロープは、車いす用の段差解消簡易スロープです。車いすを介助して段差を乗り降りするための用具です。用途以外には使用しないでください。

⊘ 禁 止

スロープ走行面を確認

- スロープ表面が泥や雪などで、滑り止めが効きにくくなっている場合の使用にはご注意ください。使用前にスロープ走行面の状態を確認し、泥や雪などを取除いてからご使用ください。

❗必ずおこなう

- 車いすがスリップしたり、介助の方が転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

ペロ部分のすき間に注意

- ペロ部分と段差面の間にできるすき間にご注意ください。

⚠ 注 意

- キャスターなどの小さな車輪がぶつかって車いすが不安定になったり、介助の方がつまずいて転倒するなどの事故の原因になります。

持ち運びの際の注意

- スロープを持ち運ぶ際は、周囲の安全をよくご確認の上、持ち運んでください。

⚠ 注 意

- 周囲の人を傷つけるなど思わぬ事故の原因になります。

乱暴な取扱いをしない

- スロープを落としたり、スロープ上で飛び跳ねるなど、乱暴な取扱いをしないでください。

⊘ 禁 止

- スロープ本体が変形したり、溶接部分に亀裂などの損傷が生じて使用ができなくなる恐れがあります。

熱くなったスロープに注意

- 夏期など、長時間直射日光が当たるとスロープの温度が上昇します。設置収納時、また、ご使用の際にはご注意ください。

⚠ 注 意

- 熱くなったスロープにふれるとやけどなどをする恐れがありますので、ご注意ください。設置、収納の際には必ず軍手などを着用してください。

その他

- 段差床面の材質によっては、スロープの使用により床面が傷つくことがあります。ご使用の際はご注意ください。

⚠ 注意

お手入れの際の注意

- お手入れの際に、エッジや滑り止め部分などでケガなどをしないよう十分ご注意ください。
- 汚れを落とす際は、薄めた中性洗剤を使用し、シンナーやベンジンは使わないでください。水または薄めた中性洗剤を含ませた布を絞って使用し、拭き終わった後、洗剤をよく洗い流して水気を拭き取ってください。
- シンナーやベンジンで滑り止めがはがれたり、ゴム部分などが溶け出す恐れがあります。
- 金ブラシ、タワシなどの固いものでこすり洗いをしないでください。特に、滑り止め部分は歯ブラシなどの柔らかいブラシで汚れを落としてください。
- 本体や滑り止めの部分が傷つく恐れがあります。また泥などで汚れたまま放置すると、材質が劣化する恐れがありますので早めに汚れを落としてください。
- スロープが濡れた場合は、すぐに水気を拭き取り乾燥させてください。
- 滑り止めがはがれたり、本体材質が劣化する原因になります。常時水がかかる場所や、水没する場所では使用しないでください。
- 滑り止め部分やベロ裏側のゴムがはがれたり破れている場合は、補修または貼替えが必要です。
- 海岸付近で使用される場合、潮風に含まれる塩分からアルミ表面が白く変色することがあります。時々真水などで塩分を洗い落としてください。

⚠ 注意

異常が現れた時は (修理の禁止)

- 万一、製品に破損、変形などの異常が現れた時は、即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先:8頁』または発売元までお問合せください。

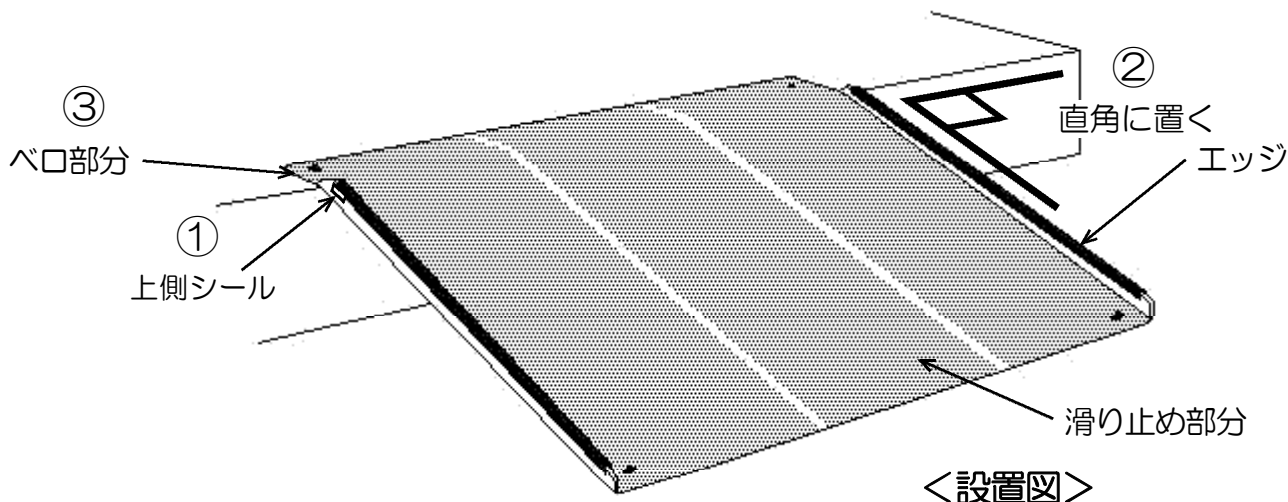
⊘ 禁止

- * お客様ご自身での修理は絶対にしないでください。

【設置方法】

⚠ 警告

- ①上側シールが貼ってある方を段差の高い側に置く。
 - ②スロープを段差に対して直角に設置する。
 - ③ベロ部分を段差にしっかりとのせる。
- 手や指の保護のために、スロープを扱う際は必ず市販の軍手等を着用してください。
 - ご使用の際は、必ず介助者が付き添いご使用ください。
 - 設置・収納時、また持ち運びの際には、周囲に人がいないかなど安全をご確認ください。



【お手入れの際のチェックポイント】

⚠ 警告

定期的に、下記の各部分を点検してください。点検時に破損や変形などの異常が見られた場合は、即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先：8頁』または発売元までお問合せください。

<スロープ本体>

スロープ本体に変形、亀裂がないことをご確認ください。

変形や亀裂などの異常が見られる場合は、『アフターサービスのお問合せ先：8頁』または発売元までお問合せください。

<エッジ>

エッジに変形、亀裂がないことをご確認ください。また、エッジゴムが外れている場合は付け直してください。

切れたり、なくなっている場合は、『アフターサービスのお問合せ先：8頁』または発売元までお問合せください。

<滑り止め>

滑り止めが泥などで、目づまりしている場合は、歯ブラシなど柔らかいブラシで、汚れを落としてください。

はがれなどで補修、張り替えの必要がある場合は、『アフターサービスのお問合せ先：8頁』または発売元までお問合せください。

<ベロ裏滑り止めゴム>

ベロ裏滑り止めゴムがしっかり貼り付けられていることをご確認ください。はがれがみられる場合は接着剤を取除き、接着面をきれいにしてゴム系または変成シリコン系の接着剤を使用して圧着してください。

また、はがれなどで補修、貼り替えの必要がある場合は、『アフターサービスのお問合せ先：8頁』または発売元までお問合せください。

【角度表】

設置する段差の高さとスロープ傾斜角度の関係を下記に示します。ご使用の目安としてください。

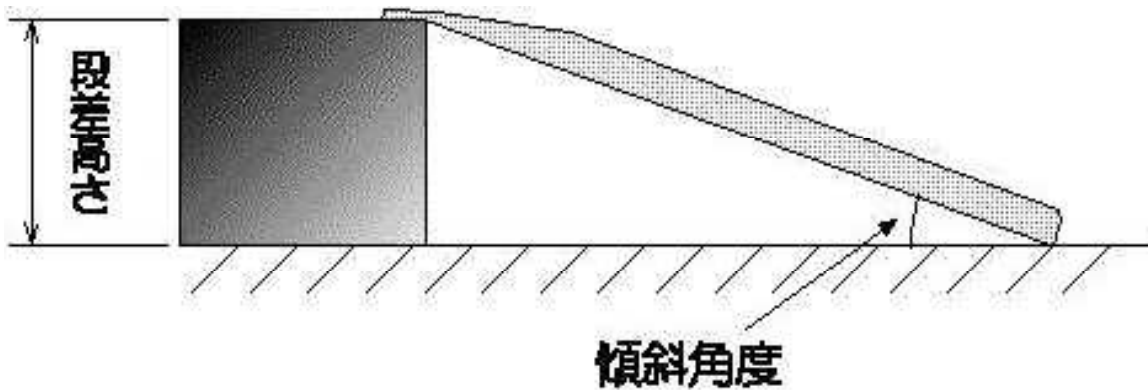
角度表(参考値)

* 小数点以下四捨五入

品 番	スロープ 有効長さ	段 差 高 さ (cm)																	
		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	18	20	22
PEK025	20.0cm	6	9	12	15														
PEK040	35.0cm	3	5	7	8	10	12	13	15										
PEK060	55.0cm	2	3	4	5	6	7	8	9	11	12	13	14	15					
PEK090	85.0cm	1	2	3	3	4	5	5	6	7	7	8	9	10	10	11	12	14	15

◇表の見方

(例)10cmの段差にPEK060(スロープ有効長さ55.0cm)を使用した場合
傾斜角度は約11度となります。



【安全に製品をご使用いただくために・・・】

《レンタル事業者様へ》

- 「イーストアイ・ポータブルスロープ エッジ付1枚板タイプ」をレンタル品としてお取り扱いいただきまして、誠にありがとうございます。スロープをレンタルされる際には、実際にご使用になるお客様に、スロープの使用条件、使用方法、取扱い上の警告・注意事項など、この取扱説明書の内容について十分説明していただくようお願いいたします。また、実際に使用される場所をご確認いただき、周辺に障害物などの危険(例:溝、小さな段差、小石など)がある場合、ご利用者様に対して、「使用環境の整備」と「事故防止の対策」などの提案をお願いいたします。この説明書の内容をご説明いただいた後、必ず下記『アフターサービスのお問合せ先』の各事項を記入の上、商品と一緒にご利用者様へお渡しください。
- 定期的にご利用者様宅を訪問の際に、スロープの状態を『お手入れの際のチェックポイント:6頁』に基づきご確認いただき、メンテナンスを行ってください。製品は外部から見て損傷がないように見えても、ご使用とともに金属疲労、紫外線などによる樹脂の劣化・退色、ゴムの摩耗や硬化などの経年劣化が進み、強度不足など総合的に製品の安全性に問題となる場合があります。点検後に異常が見られる場合は、即時に使用を中止して製品の回収をしていただき、下記:『製品についてのお問合せ先』までお問合せください。メンテナンス不良のまま製品の使用を続けると製品の破損や転倒など思わぬ事故の原因になります。定期的にメンテナンスをお願いいたします。
- 弊社では定期的に取り扱説明書を改訂しております。商品をご購入後、1年以上を経過して再レンタルなどの場合には、ホームページから介護保険貸与対象福祉用具の「取扱説明書」の最新版をダウンロードしてご利用ください。
(ホームページURL <http://www.easti.co.jp>)

《ご利用者様、介護される方へ》

- この度は「イーストアイ・ポータブルスロープ エッジ付1枚板タイプ」をご使用いただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品を安全にご使用いただくための警告・注意事項や使用方法、お手入れの際のチェックポイントや点検方法などが記載してあります。レンタル開始時に必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、不明な点がございましたら、貸与を受けられているレンタル事業者までお問合せください。ご使用の間に、製品に破損や変形などの異常がみられる場合は即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先:下記』または発売元までお問合せください。

『アフターサービスのお問合せ先』

製品名(品番)

イーストアイ・ポータブルスロープ エッジ付1枚板タイプ (品番: PEK025/PEK040/PEK060)

レンタル開始日 年 月 日

会社名 (住所/電話番号をご記入ください)

* 商品に異常が見られる場合はすぐに使用を中止し上記レンタル事業者に連絡してください。

- * 無断転載・複写を禁じます。
- * 説明の都合上、実際の製品に対し、全てのイラストは簡略化しています。
- * 製品を譲渡される場合は、必ず合わせて本説明書もお渡しください。
- * 廃棄の際には、居住地の自治体の指示に従い処分・廃棄してください。
- 本体部 :アルミ
- エッジゴム:合成ゴム
- ベロ裏ゴム :ポリウレタン(PU)



＜製品についてのお問合せ先＞

株式会社イーストアイ(発売元)

〒123-0864

東京都足立区鹿浜1-4-14

TEL 03(3897)9393 / FAX 03(3897)9535

[pek_160624_dl]